

・予防接種専用時間  
毎週水曜日を除く午後1:30~2:00  
3月31日(水)、学会出席のため臨時休診いたします。

今年もインフルエンザが流行はしましたが、昨年の様な大流行ではなく、シーズンを終えそうだと感じています。しかし、マスコミの影響力の大きさを改めて感じさせられたシーズンでもありました。インフルエンザの予防接種は、1~4週間隔で2回接種が必要で、その効果が発揮されるまでに、2~3週間はかかると思われ、年々明けてから流行が確認されてからでは遅いので、インフルエンザ流行の報道をお聞きになってから予防接種を希望される方がたくさんいらっしゃると思います。また、インフルエンザがすでに終息したと思われる頃でも、まだインフルエンザが猛威を振るっているという報道も見られました。感染症の統計が2~4週間遅れることがその原因かと思われ、インフルエンザのような疾患では1週間程度全く違った状況になりますので、このギャップは無視できないものがあります。情報をいかに上手に使うかが今後益々大切になってくるかと思われ、インフルエンザに限らず、我々医療関係者からみると、具合が悪い時にはできるだけ早く受診してほしいと思います。今回は、医療機関を受診する際の一般的な注意点をふれてみたいと思います。あくまでも一般論で、こうではないといけないというものではありませんので、かたがたく考えず



# 吉内科小児科ニュース

今月のテーマ  
お医者さんに行こう  
〒100-0001 東京都千代田区千代田  
〒100-0001 東京都千代田区千代田  
TEL:03-2243-2250

安達医師会のホームページでは、安達医師会管内の52の医療機関が協力して、毎週その週のインフルエンザをはじめとする種々の感染症の発生状況を報告しておりますので、よろしくご参考になさってください。アドレスは、<http://www02.so-net.ne.jp/~amf/shimin/kansen.html>です。

「現病歴」次に、現病歴(病気の経過)をうかがうこととなります。この際のポイントは「いつから、どのような症状があり、どうなってきたか」という事です。お子さんの場合は、お父さんのお話を一番よく知っている人がつれてきて下さい。いつからどんな具合なのかを聞かせてもらい、この判断が正しいかどうかを確かめて行くわけです。その情報が少なすぎたり、あいまいだったりすると、診断に苦労します。誰かに頼むときは、経過を書いたメモを渡すなどして下さいます。また、小さいお子さんが受診する時の注意点をあげられ、次のような事があげられます。おなかの空いて泣いている場合、診察で得られる情報が少なくなってしまうので、余剰がある場合には、授乳時間と受診時間のタイミングにも気を付けて下さい。

「現病歴」次に、現病歴(病気の経過)をうかがうこととなります。この際のポイントは「いつから、どのような症状があり、どうなってきたか」という事です。お子さんの場合は、お父さんのお話を一番よく知っている人がつれてきて下さい。いつからどんな具合なのかを聞かせてもらい、この判断が正しいかどうかを確かめて行くわけです。その情報が少なすぎたり、あいまいだったりすると、診断に苦労します。誰かに頼むときは、経過を書いたメモを渡すなどして下さいます。また、小さいお子さんが受診する時の注意点をあげられ、次のような事があげられます。おなかの空いて泣いている場合、診察で得られる情報が少なくなってしまうので、余剰がある場合には、授乳時間と受診時間のタイミングにも気を付けて下さい。

「現病歴」次に、現病歴(病気の経過)をうかがうこととなります。この際のポイントは「いつから、どのような症状があり、どうなってきたか」という事です。お子さんの場合は、お父さんのお話を一番よく知っている人がつれてきて下さい。いつからどんな具合なのかを聞かせてもらい、この判断が正しいかどうかを確かめて行くわけです。その情報が少なすぎたり、あいまいだったりすると、診断に苦労します。誰かに頼むときは、経過を書いたメモを渡すなどして下さいます。また、小さいお子さんが受診する時の注意点をあげられ、次のような事があげられます。おなかの空いて泣いている場合、診察で得られる情報が少なくなってしまうので、余剰がある場合には、授乳時間と受診時間のタイミングにも気を付けて下さい。

### 時間外の電話番号がかわりました

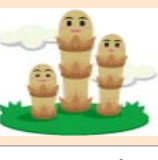
当院では、診療時間終了後や休日には留守番電話となり、かかりつけの患者さんで急病でお困りの方は090-2798-3742におかけ下さい。これは、時間外診療の専用電話番号です。この番号に限り、突然の発病でお困りの際は、ご遠慮なくこの番号におかけ下さい。かかりつけの患者さんに限らず、時間外でも診察いたします。なお、休日は原則午前11時前後、午後5時頃にまとめて診察させていただきます。ご理解とご協力をお願い申し上げます。



「一般的な注意点」熱のある時は、必ず熱をはかってみて下さい。熱があつたみたいと、一度あつた場合は、経過が長い場合は熱型グラフが参考になります。全体の流れをつかむためには毎日の最高体温が参考になります。他の医療機関を受診している場合は、お薬を持参して下さい。水薬や散剤は見ても処方内容まではわからない場合、ほとんどです。お薬の内容を聞いてきてもらえるかと参考になります。簡単なメモでもかまいません。

### スタッフ紹介

今回は、当院の最年少、高智智代さんをご紹介します。1973年7月7日生まれ、「か」座、「O型」です。家族構成は、お母さん、お父さん、お兄さん、お姉さん、お弟さんの3人暮らしで、当院で働いておられるお姉さん、お兄さん、お弟さんも、お父さんが大好きです。また、海、花火、体を動かすのが好きで、バスケットボールや縄跳びも大好きです。所属しており、痛み止めや湿布を下さいます。  
<本人から一言>もう若いのですが、何にでもチャレンジしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひします。



嘔吐や下痢をしている場合、点滴が必要なものがあります。通常点滴には2時間前後かかりますので、時間的に余裕を持って受診して下さい。  
「待合室での注意点」お子様の場合、待っている間に退屈して不機嫌になってしまう場合がよくありますが、食べ物や飲み物は与えないでください。口の中を見るとき見づらくなり、正しい判断ができなくなることがあります。膀胱炎やいわゆる自家中毒などの時には、おしっこを調べる必要があります。待っている間におしっこがしたくなったら受け付けにお知らせ下さい。特に具合の良くないときは、遠慮せず受付にお知らせ下さい。順番を早めて診察することもあります。麻疹水ぼうそう、おたふくかぜなどの感染症の疑いがある時は、受付でお話ください。感染をさけるため、別のところへ待つためです。

この情報紙のコピー及びバックナンバーをご希望の方は、受付までどうぞ。